

日時：10月20日(金) 15:10～17:30  
場所：神戸大学文学部 C564大会議室

講師・講演タイトル：

吉野浩司氏（鎮西学院大学）  
「P.A. ソローキンと移動：コミ、サンクト＝ペテルブルク、 プラハ、  
ミネソタ、マサチューセッツ」

吉田耕平氏（鎮西学院大学）  
「白色ロシアと自由の国アメリカを結ぶもの：ペテルブルクからの  
追放法学者ニコライ・ティマシェフの社会学問題」

主催：神戸大学『文化交渉学』創出にむけた研究ユニット

共催：科研費基盤研究(B)「＜善く生きる＞ための社会学の基盤構築：亡命知識人の一次資料の国際共同学術調査」（研究代表者：吉野浩司）

2023年度 第1回 文化交渉学ワークショップ

# 亡命社会学者と 境界移動の経験

社会とその学問の境界を問い直す

講師プロフィール：



吉野浩司

鎮西学院大学現代社会学部教授。専門は社会学史。主な著書・論文に『高田保馬自伝「私の追憶」』（編著、佐賀新聞社、2022年）、『利他主義社会学の創造——P・A・ソローキン最後の挑戦』（昭和堂、2020年）など



吉田耕平

鎮西学院大学現代社会学部准教授／東京都立大学人文科学研究科客員研究員。専門は社会科学史、移住移動研究、災害研究。主な著書・論文に『グローバリゼーションとモビリティ』（共著、関西学院大学出版会、2022年）、『十九世紀西欧思想史と〈際限なき進歩〉への抵抗』（『社会学史研究』43号、2021年）など。

お問い合わせ：梅村（umemura.mugio@people.kobe-u.ac.jp）まで